

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
110021003	人間関係とコミュニケーション Interpersonal Relationships and Communication	後藤 明日美			2	選択	2前期

科目の概要

人間関係について学ぶことは、社会に出て自らの力を十分に発揮するために役立ちます。そのために、まずは「自分や他者をよく知る事」が大切です。本講義では、心理学の視点から自己と他者との関わりについて多面的に検討することで、人間関係について柔軟かつ客観的に捉えられるようになることを目指します。そして、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で問題解決する力を養います。尚、ディプロマポリシーの②に相当します。

学修内容	到達目標
① 人間関係やコミュニケーションに関する基礎を理解する。 ② 自分と向き合い、自分の傾向を理解する。 ③ 自己と他者の認知の違いについて考察する。 ④ 集団の中での人間関係を理解する。 ⑤ pisa型学力および対人スキルを身につけ、実践することができる。	① 人間関係の基礎となる知識について説明できる。(DP2) ② 自己理解を深め、自分の課題について考察できる。(DP6) ③ 多様性を理解し、自己の認知を調整することができる。(DP6) ④ 自己や他者の心の動きを客観的に考察できる。(DP6) ⑤ 対人スキルを身につけ、実践することができる。(DP4)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間でも、自ら考え、適切なスキルを活用できる。その後、ふりかえることができる。そのふりかえりを実践にフィードバックできるようになる。
	働きかけ力	他の人に働きかけ、コミュニケーションをとることができる。
	実行力	ワークに前向きに、粘り強く取り組み、理解を深めることができる。
考え抜く力	課題発見力	講義やワークにおいて、疑問を抱いたり自己の課題に気づいたりしながら、それらを体験的に結びつけることができる。
	計画力	グループで時間内に課題について考え、完了させることができる。課題を期限までに提出することができる。
	創造力	多面的な視点で事例や理論を捉えることができる。
チームで働く力	発信力	相手にわかりやすい伝え方を考え、発信することができる。
	傾聴力	講義において説明される事柄について、自信の立場に置き換えながら聴くことができる。ワークにおいて、相手の意見と自分の意見とをすり合わせながら取り組むことができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、自分の考えに固執することなく、異なる意見を検討し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分自身が周囲に及ぼす影響に気づき、また、グループ内で何が起きているのか冷静に考えることができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	コミュニケーションで減らすことができるストレスがあることを知り、実践できる。

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。講義プリントを配布する。適宜資料や参考文献を提示する。

参考文献：斎藤勇『イラストレート 人間関係の心理学』誠信書房

川瀬正裕・松本真理子・丹治光浩『これからを生きる心理学 「出会い」と「かかわり」のワークブック』ナカニシヤ出版

山蔦圭輔・本田周二『メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論』

他科目との関連、資格との関連

家政学部の教育目標とディプロマシーを達成するための、基礎科目です。したがって、すべての科目で行われる建学の精神（四大精神）、pisa型学力、社会人基礎力の基盤となる科目です。

学修上の助言	受講生とのルール
皆さんにとって身近なことから結びつけられるようワークを取り入れながら講義を行います。ぜひ「じぶんだったらどうかな？あの人だったらどうかな？」という視点をもって主体的に参加し、自分や社会、人間関係についての新たな発見をしてください。コミュニケーションに学びを活かせるかは、皆さんの向き合い次第です。	20分を超える遅刻をした場合は欠席とみなします。講義は集中して聞き、ワークには積極的に参加してください。今後の生活に役立つ内容にしていくには、皆さんの意識と協力が必要です。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	40	①		
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①				
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)：講義で扱う基礎知識について9割以上理解できている。それに加え、レポート課題において多面的な視点や体験的理解を交えて自身の見解について論理的に述べることができる。</p> <p>A(優)：講義で扱う基礎知識について8割以上理解できている。それに加え、レポート課題において多面的な視点や体験的理解を交えて自身の見解について論理的に述べるができる。</p>	<p>B(良)：講義で扱う基礎知識について7割以上理解できている。またはレポート課題において自身の見解について論理的に述べるができる。</p> <p>C(可)：講義で扱う基礎知識について6割以上理解できている。またはレポート課題において自身の見解について文章としてまとめることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション (人間関係を学ぶ意義、講義で行うこと)	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答	講義で学ぶこと、その意義について理解できる。	(予習) シラバスを読み、講義の目的を理解しておく。 (復習) 講義内容を振り返り、日常生活と照らし合わせる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	【基礎知識編：他者との関わりについて考えよう①】 社会心理学からみた対人関係の理論を学ぶ。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	対人認知や印象形成といった対人関係に関する理論を説明できる。	(予習) 1週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	【基礎知識編：他者との関わりについて考えよう②】 言語的・非言語的コミュニケーションを学ぶ。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	コミュニケーションの種類や方法を理解し、説明することができる。	(予習) 2週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	【基礎知識編：他者との関わりについて考えよう③】 アサーションについて学ぶ。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	コミュニケーションスキルのひとつとして、アサーションを学び、自他尊重の自己表現について理解できる。	(予習) 3週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	【基礎知識編：集団における人間関係について考えよう①】 集団内で起こり得ること、集団が個人に及ぼす影響を学ぶ。	・講義 ・ワーク、ワークシート、小テスト ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	集団における社会的認知など基本的な理論について説明できる。	(予習) 4週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	【基礎知識編：集団における人間関係について考えよう②】 支助的行動・援助行動、その背景について学ぶ。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	主従関係のメカニズムについて理解できる。 援助行動の際にはたらく心の理論について理解できる。	(予習) 5週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	【基礎知識編：自分自身について考えよう】 心のはたらきに関する基礎知識(交流分析)について学ぶ。	・講義 ・ワーク、ワークシート、レポート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	対人交流に関する基礎理論について説明できる。	(予習) 6週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	【応用編：フィールドワークの準備をしよう】 モデリング体験、インタビュー調査、観察調査について学ぶ。 実践できるよう準備をする。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	調査計画を完成させることができる。	(予習) 7週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	【応用編：モデリング体験①】 他者の行動を観察することによって自分自身を振り返り、考察する。	・講義 ・DVD視聴 ・ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	自分自身について考えながら行動観察に取り組むことができる。	(予習) 8週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	【応用編：モデリング体験②】 他者の行動を観察することによって自分自身を振り返り、考察する。	・講義 ・DVD視聴 ・レポート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	他者の行動を観察し、その背景を理解しようとして考察することができる。	(予習) 9週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	【応用編：インタビュー調査の結果をまとめよう】 インタビュー調査によって得られた結果をまとめる。 次週グループ発表ができるよう準備をする。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	インタビュー調査の結果を、他者に報告できる形でまとめることができる。	(予習) 10週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	【応用編：インタビュー調査の結果を共有しよう】 インタビュー調査によって得られた結果をグループで共有し、個人で考えたことを言語化する。	・講義 ・ワーク、ワークシート、レポート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	インタビュー調査の結果を「人間関係とコミュニケーション」と関連させてまとめることができる。	(予習) 11週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	【応用編：観察調査の準備をしよう】 観察調査によって得られた結果をグループで共有し、全体発表に向けて話し合う。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	グループで話し合い、観察調査に向けた準備を完了させることができる。	(予習) 12週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	【応用編：観察調査の発表準備をしよう】 観察調査によって得られた結果をグループで共有し、全体発表に向けて話し合う。	・講義 ・ワーク、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	グループで話し合い、観察調査の結果報告発表に向けた準備を完了させることができる。	(予習) 13週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	【応用編：観察調査の結果をまとめたものを、全体に報告しよう】 グループでまとめたものを、全体に伝わるように口頭発表をおこなう。	・講義 ・プレゼンテーション、ワークシート ・質疑応答、前回のワークシートに関するフィードバック	グループの一員として責任をもって発表に臨むことができる。 他グループの発表を聞き、人間関係とコミュニケーションについて理解を深めることができる。	(予習) 14週目に提示する。 (復習) 講義を振り返り、日常生活と照らし合わせて考えたことをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力